

## 認知症作業療法 活動報告（概要）

富山県作業療法士会では、2015年に認知症初期集中支援チーム推進委員会を立ち上げ、富山県内の市町村からの依頼に応じたり、県士会員の認知症に関する知識・技術向上への支援を行っている。現在は認知症作業療法委員会と名称を変更し、18名の委員で対応している。活動は当委員会だけでなく、PT・STとの合同のリハビリテーション専門職協議会、県士会内の地域アドバイザー推進委員会や作業療法普及指導部とも連携して取り組んでいる。

## 「若年性認知症の人と家族の交流会」への援助

### 【経緯】

- ・富山県若年性認知症相談支援センターより、「本人家族の交流会の運営に力を貸してもらえないか」との依頼を受ける。

### 【実施】

- ・2020年7月より2ヶ月に1度実施。コロナの影響で中止になることもあったが、現在までに9回実施している。
- ・家族が互いに情報交換を行っている間、作業療法士は保健師や看護師と共に若年性認知症の当事者の方への対応を担当。
- ・達成感や季節感を共有しやすい工作活動を選定して実施。当事者の方の力を引き出し、生き生き過ごすことが出来る場の提供を行っている。

### 【これまでの内容】

トートバック、お菓子バック、クリスマスリース、ランプシェード、団扇、風鈴、マスク



## 認知症作業療法アップデート研修

- ・2021年3月にWeb開催。以降開催はしておらず参加者数も頭打ちになってきていた。内容は系統立たてられた分かりやすいものなので、今後は毎年ではなく数年に1度の頻度で開催する。

## COVID-19（新型コロナウイルス）の影響・対応など

- ・富山県が主催していた「健康と長寿の祭典」にて認知症予防の啓発を行っている。しかしCOVID-19により過去2年間中止となっており、現状COVID-19の収束の目途が立たないことから今年度廃止されることが決まった。

## 今後の展開

- ・認知症への対応はそれ単体ではなく、家族支援や介護予防などを含めて複合的に行われている。今まで認知症作業療法委員会として認知症に限定して対応してきたが、来年度から他の部会と統合し「高齢者支援部会」として新たな組織作りを行うことになっている。